

## 2020 佐紀路カメラ散歩――第二回 / 水上池



左: 磐之媛陵  
右: 水上池



磐之媛陵の南に大きな池がありますがこれが佐紀沢(水上池)です。平城京跡の北側には、ハジカミ池、水上池、上吉堂池、御前池、佐紀池等がありますが水上池は周囲が 1.5Km あり、奈良市内で最も広大でかつ最も古い池の一つです。日本書紀の垂仁天皇記において”倭の狭城池及び速見池を作る”と記される中の狭城池にあたります。その歴史は 1300 年前の平城京遷都をもはるかに遡るものであるとも言われています。

万葉集に中臣女郎が大伴家持に贈った恋歌  
\*をみなえし、佐紀沢に生ふる、花かつみ、か  
つても知らぬ、恋もするかも(巻 4-675)

\*ことさらに、衣はすらじ、をみなえし、佐  
紀野の萩に、にほひて居らむ(巻 10-2107)

このように佐紀の歌は自然の植物をよみ、恋歌にそれを利用するといった庶民的なものだったのです。

現在の水上池は、野鳥(カルガモ、マガモ、アイガモ、オオバン、コブハクチョウ、カワウ、アオサギ、オシドリ等)が数多く飛来するバードウォッチングのスポットとしても知られており、池の南側にかけて存在した釣り堀りの跡や、明治期に池の中ほどに設けられた堤が生み出す風景も不思議な趣を感じさせます。また、池の西側からは若草山や春日山を広く望むことができるほか、夕日が沈む時間帯の光のバランスは実に美しく、平城京跡周辺ののどかな散策スポットとして身近な自然を感じられる空間となっています。